

農業にチャレンジした堀内グループの経営理念
いかに生き抜くか？～新事業の戦い方～



平成23年3月
株式会社 堀内組

堀内グループの企業紹介

建設部門

株式会社 堀内組
昭和25年現組織で設立
総合建設業(大臣許可)
ISO9001、14001取得
資本金80百万
従業員103名



堀内組本社



ライフ佐世保北
(住宅リフォーム部
門)

堀内商事 株式会社
昭和53年設立
・建設資材リサイクル部門
・燃料販売部門(給油所)
・アグリ部門
資本金10百万
従業員28名(パート含む)



ENEOS真申ステーション 堀内商事リサイクルセンター

重機建設工業株式会社・重機・オペレーター部門
株式会社堀内地研コンサルタント・土木設計部門

農業部門

堀内グループの企業紹介

農業生産法人(有)フロンティア アグリカルチャー ながさき

平成17年設立

(堀内組社員5名(農家含む)転籍)認定農業者

ブルーベリー・マンゴー・オリーブ等栽培

資本金3百万

従業員13名(パート含む)



ブルーベリー農園



マンゴー農園



オリーブ実証農園

(長崎九十九島オリーブ振興協議
会)



農海産物直売所
「食彩の里 よかばい相浦」

介護福祉サービス部門

社会福祉法人 佐々川福祉会

平成10年7月設立

特別養護老人ホーム 虹の里

平成11年4月OPEN

- ・ 介護福祉施設運営(特養・ショートステイ)
- ・ デイサービス(機能回復訓練)
- ・ 在宅介護支援(生活支援サービス)

株式会社ウェルフェアー佐世保

- ・ 高齢者専用賃貸住宅



特別養護老人ホーム 虹の里

建築業界の現状

- ◆ 建設投資の急速な減少
- ◆ 公共事業費の削減→長崎県公共事業費10年前の**約50%**
- ◆ 業況判断BSI 建設分野△17→△27→△45

* BSI・・・回答企業の「好転・増加・上昇」とする企業から「悪化・減少・下落」とする企業割合を差し引いた指標
 (プラスは好転、マイナスは悪化と見られる)

公共工事の減少・受注競争による工事単価の下落・建築基準法改正による工事進捗の遅れ
 資材価格の上昇、先行きの見通しが立てられない。

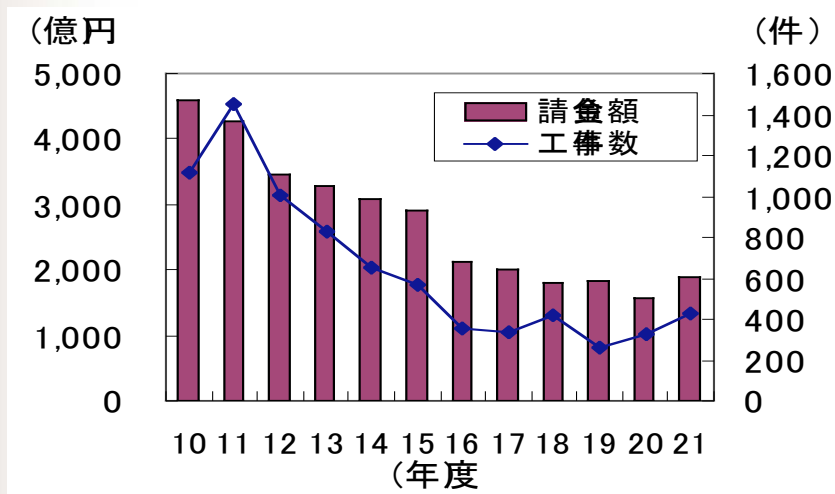


図1. 長崎県内の工事請負金額と件数

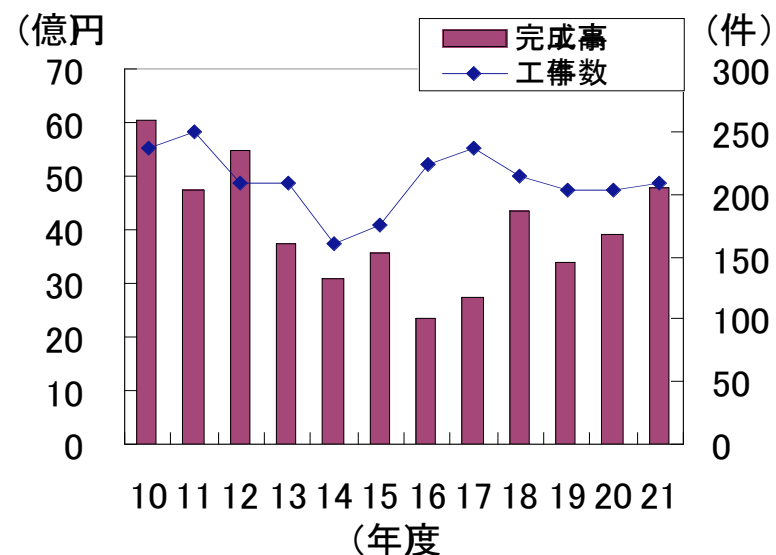


図2. 堀内組の工事請負金額と件数

建築業界の現状

建設投資削減傾向の中
平成13年
雇用調整の実施

これでいいのか？
疑問・・・

当期の決算上、利益は確保したものの・・・
企業力の低下が懸念される。

- ・ 建設分野だけでは地域から必要とされる企業としての存在価値が低下
- ・ 地域の活力が失われる。

新分野への進出 ⇒ “農業へのチャレンジ”

農業へのチャレンジ

◆ きっかけ

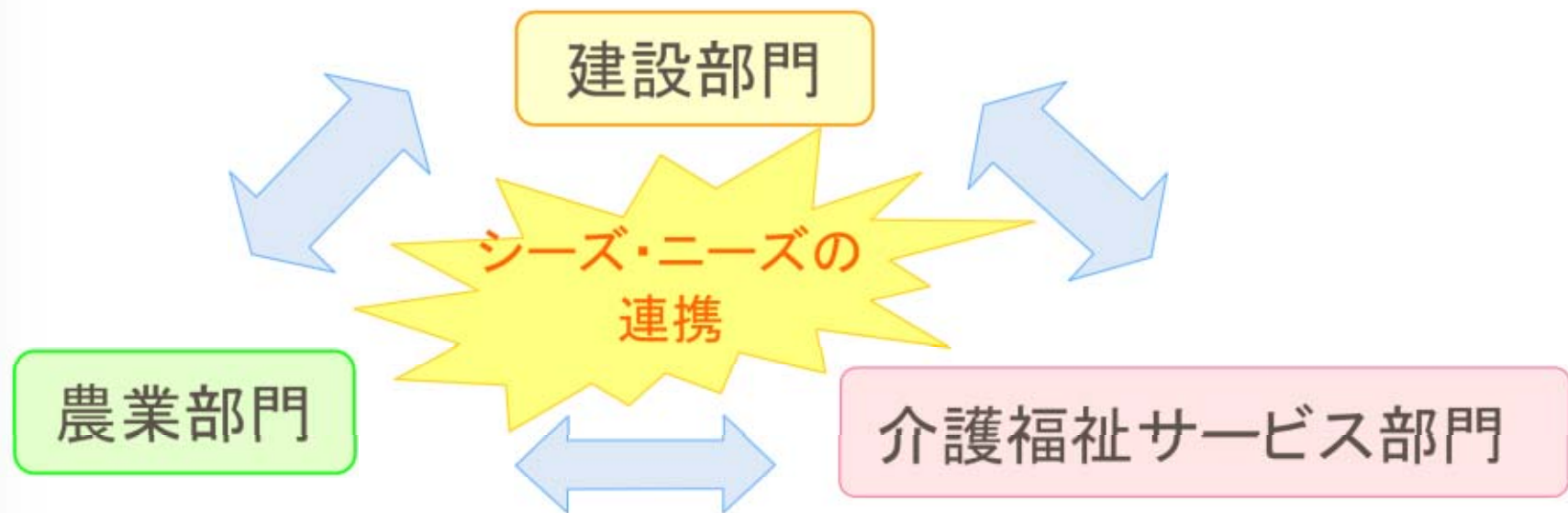
- 建設業と農業は共に**土を扱う事業**
- 建設業だけでの経営に危機感を抱く建設業が『帰農』への路線に踏出すのは自然の流れ

さらに、新分野進出を活かし・・・

堀内グループの総合建設業・住宅リフォーム・農業・福祉分野を連携させた**新しいビジネスモデル**の構築を目指すことができる。

堀内グループでの
70歳までの雇用確保

本業との関連性
(重機・労働力)



農業へのチャレン

ジ

◆ 目的

農業分野において建設事業を創出させ、

本業に繋げる ※堀内グループの新しいビジネスモデルとす

■パッケージ化

1. 建設業を活かした土地の整備、ハウス建設
2. 栽培指導
3. 果実の買い取り→販売ルートの開拓



■農商工連携

- 地域活性化
- 信頼感の向上

■ながさきブランドの創出

- 地域活性化
- 新たな特産物
- 高付加価値の取得



農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 着眼点

- 他の同地域内の生産物と競合しない
 - 管理型生産が可能な作物
 - 目の網膜に良いとされるアントシアニンが豊富
 - 抗酸化作用がある
- 機能的果実として健康志向で需要が伸びてきている etc...



農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 事業実施の経緯

【株式会社堀内組】

- ・ 事業企画、資金調達支援、
- ・ 人的・設備・土木工事的支援
- ・ 建設技術者の農業分野への雇用移動
- ・ 各部門調整

【資金調達】

- ・ 親和銀行
- ・ 農業近代化資金(JAながさき西海)ブルーベリー施設建設資金

農商工連携事業モデル

行本会計事務所との
コンサル契約
平成18年9月

戦略的な方向性を
見間違えない

農業生産法人
プランツ業務提携

【農業生産法人(有)FAながさき】

- ・ ブルーベリー栽培地選定(佐世保市潜木町)
- ・ ブルーベリー栽培の先駆者農業生産法人プランツとの業務提携平成19年4月
- ・ ブルーベリー栽培責任者の研修(堀内組転籍者)
- ・ ブルーベリー農園工事着手平成19年5月
平成20年2月完成

『よかばい柚木農園』

ながさきブルーベリー『あいいいの雫』(商標登録済み)

平成20年5月末より収穫開始

生販分離

【堀内商事株式会社】

- ・ 堀内グループの堀内商事(株)に新規アグリ事業部創設
*ブルーベリー事業における商品企画・販路開拓・営業を担当
流通分野の専門職を雇用(2名)

【農業生産法人(有)FAながさき】

- ・ 農海産物直売所 食彩の里 よかばい相浦(平成18年12月オープン)



農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 協議会の設立

『日本ブルーベリー生産振興会』の設立。平成21年4月

《構成員》

農業生産法人(有)フロンティア アグリカルチャーながさき、
福岡県の企業、山口県の企業

〈目的〉

- 品質基準の確立により差別化を図る。
- 関東、関西地区への販売ルートの確立。

農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 設備概要・アクアポット栽培の特徴

【設備概要】

APハウス 13棟 10,000㎡(ハウス面積)
強化型ビニールハウス21棟 19,514㎡(ハウス面積) 計 29,514㎡(ハウス面積)
合計 アクアポット(点滴ポット)9,000鉢 品種10品目
自動灌水装置(スケジュールタイマーつき)・植木鉢栽培・特殊培養土

【よかばい柚木農園全
景】



【ハウス内状
況】



【ブルーベリー生育状
況】



【アクアポット栽培の特徴】

先進栽培技術により、適正に管理された肥料の施肥と水管理、減農薬栽培が可能になるほか、雨よけ効果もあり、**安全で・安心**で高品質なブルーベリー栽培が計画的・製造業的に収穫可能になる。加えて、温室栽培のため出荷時期は露地栽培と比べて約1ヶ月早く収穫できるため、**有利販売**もできるようになる。

農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 主な販売先

- 農業生産法人(有)フロンティア アグリカルチャー ながさき により運営
農海産物直売所 『食彩の里 よかばい相浦』



- ・農業生産法人(株)プランツ(業務提携先)
* 買取保障有
- ・県内有名デパートおよびスーパー(エレナ等)
- ・県内観光施設(ハウステンボス等)
- ・県内食品加工業者(ケーキ等)
- ・県内酒造メーカー予約販売
- ・ギフト(お中元・お盆)
- ・インターネットYAHOO!ショッピング

試験的に実施した観光農園(ブルーベリーの収穫体験ができる)

農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 商品紹介

						
生果	ジャム&ソース	ブッセ	シュークリーム	どら焼き		
						
リキュール (25度/12度)	出島の珍駄酒	パンケーキ	カステラ			
						
生チョコ	生キャラメル	うどん (もずく入りも有)	そうめん			
						
ソフトクリーム	ゼリー	大福	ジュース			

自社運営の直売所で販売
ネット通販でも一部販売

農業へのチャレンジ

～ブルーベリー～

◆ 工夫・苦勞した点

◆ 栽培地の確保

【栽培地の選定・決定・整備】

- ・ 認定農業者なので、行政のほうから耕作放棄地を含めた農地の紹介有。→農地決定
- ・ 耕作放棄地の圃場整備については、建設技術者からの雇用移動を実施していたので、建設機械を駆使して効率よく施工できた。

◆ 技術提携先からの技術移転

【研修・契約】

- ・ 栽培責任者の業務提携先への派遣研修及び当社栽培地への現地指導
- ・ 業務提携先との契約による責任と権利役割・商圈等を明確にする。

〈ポイント〉

佐世保で栽培するFAながさきに福岡の(株)プランツよりどう技術移転させるか

◆ ブルーベリー生果を含めた地域ブランド戦略

【地域ブランドとしてのネーミング】

- ・ 業務提携先との契約で自社ブランド名の権利を得る。
- ・ ネーミングについては、堀内組及びグループ会社のホームページで一般公募によりながさきブルーベリー『あいあいの雫(しずく)』で決定。(現在商標登録済み)

農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 着眼点

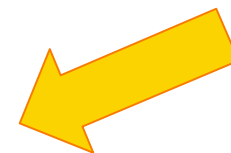
- 高付加価値
- 面積に対して単収が高い
- 農地以外で栽培可能(鉢植)



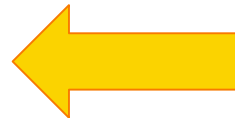
マンゴーの花



結実(小豆大)



ネット掛け



農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 事業実施の経緯

【栽培施設所有者】

：株式会社 堀内組

《役割》

- ① マンゴー生産事業に関する企画・各部門調整
- ② 資金調達

栽培委託

【生産者】

：農業生産法人

(有)フロンティアアグリカルチャーながさき

《役割》

- ① マンゴー生産・収穫
- ② マンゴー施設管理

販売委託

【販売】

：堀内商事株式会社アグリ事業部

《役割》

- ① マンゴーに関する加工商品・企画営業
- ② マンゴー出荷
- ③ マンゴーの販売

連携調整

【栽培指導】・外部連携先

“東鳳熱帯果樹園”（宮崎県宮崎市）

「技術提供に関する合意書」締結 平成19年11月29日

《役割》

- ① マンゴー生産事業（施設及び栽培方法）に関する指導
- ② マンゴー販売に関するアドバイス

栽培技術販売指導

農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 協議会の設立

『日本鉢植えマンゴー生産振興会』の設立。平成22年3月

《構成員》

農業生産法人(有)フロンティア アグリカルチャーながさき、
宮崎県の企業、岡山県の企業、和歌山県の企業、

〈目的〉

- 品質基準の確立により差別化を図る。
- 関東、関西地区への販売ルートの確立。



農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 設備概要

- 品種 : アーウィン種 600鉢
- 1号ハウス・・1392m² 452鉢 (平成20年4月1日開園)

全景



ハウス内



重油焚き加温機(熱源)



- 2号ハウス・・ 480m² 148鉢 (平成20年7月1日開園)
- 熱源: 重油焚き加温機 + 空冷ヒートポンプ方式加温機のハイブリット制御型(電気方式)

二酸化炭素の削減!!

全景



ハウス内



重油焚き加温機 + 空冷ヒートポンプ式加温機 18

農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 設備概要

雨水貯留池
(約60トン)



雨水タンク2基
栽培用水
(約20トン)



糖度計



自動灌水ポンプ
タイマー・水量設定



3重カーテン
遮光含む



灌水ノズル・
灌水チューブ



天井換気扇
温度センサー制御



対流ファン



その他サイド自動カーテン等



農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 鉢植栽培の特徴

環境に配慮した省エネハウス型鉢植え栽培

1. 鉢植えにより根域制限をしている為、肥料・水の摂取量の**管理が容易**。
⇒実が締まり、味が凝縮するため、甘み、濃くを感じるが、マンゴーが本来持っている酸味も感じ、糖度が高い。酸味と甘みの**バランスが取れた旨み**となっている。
2. 鉢植えは、根も地上に出ているため、温度変化には木全体で対応する。
⇒ハウスの暖房空間を低減する構造、さらに、木の成長によるハウス内温度制御をこまめに行い、地植え栽培に比べて、**暖房に要する重油費用を通常より1/5に低減させた。(当グループ比)**
3. ハウスの優れた**害虫防御(防虫網・アグリシート・入室制限)**を実現させた。
⇒農薬を極力抑えた**低農薬栽培**を可能とした。
農薬肥料管理台帳・栽培管理表による明確なトレサビリティ。
4. 自動灌水装置・ハウス内対流ファン装備・床部断熱シート構造
温度センサー等による自動カーテン・天窓開閉・ハウス内3重カーテン開閉
・暖房機の温度制御・天井換気扇発停制御
⇒更に栽培用水は、雨水を利用する事により、**省エネ・省力化**の実現。

農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 主な販売先



- ・ 予約販売
- ・ ギフト(お中元・お盆)
- ・ 農海産物直売所「食彩の里 よかばい相浦」
- ・ 長崎県内百貨店、スーパー(商談中)
- ・ 関東地区(商談中)
- ・ イオングループ(商談中)
- ・ 長崎県内ケーキ等製造業者(商談中)
- ・ インターネットYAHOO!ショッピング
- ・ その他



農業へのチャレンジ

～マンゴー～

◆ 工夫・苦労した点

・資金調達

【新分野進出における資金調達】

- ・農業者ではないため、金融機関からの資金調達はできない
- ・建設業の新規事業として、“日本政策金融公庫(国民事業)”から調達

・栽培地の確保

【社有地の利用】

- ・鉢植栽培が可能なことから当社の所有地を活用

・技術提携先からの技術移転

【研修・契約】

- ・東鳳熱帯果樹園(宮崎県)と堀内組で「技術提供に関する合意書」締結
 - ・マンゴー生産事業(施設及び栽培方法)に関する指導、マンゴー販売に関するアドバイス
- ※ポイント/宮崎で栽培している東鳳熱帯果樹園の技術を当社へ技術移転できるか

・地域ブランド戦略

【地域ブランドとしてのネーミング】

環境に配慮した省エネハウス型鉢植え栽培
『ながさき鉢植えプリンセスマンゴー』(現在商標登録済み)

農業へのチャレンジ

◆ 着眼点

- 耕作放棄地問題の解決に繋がる
 - 教会群の世界遺産登録に向けた活動と連携ができる(キリスト教とオリーブの関係)
 - 付加価値が高い(二次加工品のバリエーションが豊富)
 - 栽培が容易
 - 単収が高い
 - 健康に良い
- 消費者のニーズに沿った商品の創出が可能



～オリーブ～



農業へのチャレンジ

～オリーブ～

◆ 事業実施の経緯

オリーブ農園の土壌を、排水性が良い土壌に改良する必要がある

- ・ 市場調査
- ・ 香川県小豆島オリーブ園視察
- ・ オリーブ加工品の市場性
(植物性食用油・化粧品油・塩漬け等)

ビジネス性に期待ができる！

植物性スクワワン・天然ビタミンA・E、ポリフェノール、オレイン酸等天然の有効成分がそのままたっぷり入っている。果肉を絞る。

地域の問題を解決する
ビジネスモデル策定

- ※ 本業である建設業との関連がポイント
- ・ 建設重機の活用
- ・ 労働力の活用
- ・ 農業土木技術の活用(土壌改良等)

オリーブの植樹事業による
コミュニティービジネスの創出

地域の活性化



農業へのチャレンジ

～オリーブ～

◆ 協議会の設立

■ 長崎九十九島オリーブ振興協議会の設立

《構成員》

(社)長崎県建設業協会、佐世保市 ながさき西海農業協同組合、

(財)佐世保観光コンベンション協会、

農業生産法人フロンティア アグリカルチャーナーながさき、物多田舎黒島友の会

◆ 国土交通省

『建設業と地域の元気回復助成事業』に応募 → 採択

応募件数全国240件 採択件数104件(九州14件)

“テーマ”

地域建設業の資源を活用したオリーブ植樹事業による各地域発の
コミュニティービジネス(農業・観光振興)創出事業



農業へのチャレンジ

～オリーブ～

◆ 協議会の設立

1. 応募事業の概要

地域の建設産業を活用して耕作放棄地を、佐世保市、観光協会、JA等と連携し、オリーブ植樹による**地域のビジネス創出(農業・観光振興)**それに関わる建設業の雇用継続を検討する。

2. 事業期間

平成21年8月～平成23年1月末

3. 事業内容 《黒島地区》

- ・オリーブ栽培実証農園約7,713㎡のほ場整備。オリーブ苗350本定植
- ・植樹体験用ほ場整備約2,000㎡ 植樹体験200本予定
- ・西海パールシー(株)連携による黒島体験ツアー、簡易販売所の設置・運営



- 長与町オリーブ振興協議会(平成21年7月設立)
- 長崎九十九島オリーブ振興協議会(平成21年8月設立)
- 雲仙市オリーブ協議会(平成22年6月設立)
- 佐世保市オリーブ振興協議会設立準備委員会(平成22年9月設立)
- 大村市の民間団体、農家(栽培検討中)
- 平戸市NPO法人(実証農園で検証中)
- 松浦市 一般社団法人 まつうら党交流公社(栽培検討中)

農業へのチャレンジ

◆ モデル事業内容

■ 法人化 ← 物多田舎黒島友の会

(仮称)農事組合法人 黒島物多田舎(もったいなか)

現在法人化申請及び事業計画準備中



佐世保市
第三セクター

- ・西海パールシーリゾートの黒島体験ツアーとの連携
- ・植樹体験
- ・黒島特産物の販売店開設
- ・観光、体験型農園運営



～オリーブ～

黒島体験ツアー

参加者 募集中!

コース	料金
1日コース (1日1泊)	大人 8,900円 小人 7,000円
2日コース (2日2泊)	大人 15,000円 小人 10,000円

お電話にてお申込みください。
(3日前までご予約)

1日コース・2日コース共通
・黒島特産物販売店の見学
・黒島町観光
・黒島町民会館の体験型農園での体験型農園運営

西海パールシーリゾート
TEL 0956-28-4187
FAX 0956-28-4107





農業へのチャレンジ

～オリーブ～

◆ モデル事業内容

- 《佐世保柚木潜木地区》
 - ・オリーブ栽培実証農園約10,100㎡のほ場整備。
 - ・オリーブ苗550本定植。
- ・平成20年度試験事業で定植したオリーブの木（約150本）からの収穫。
- ・収穫した実の販売ルートの確立、検証。
- ・オリーブの実加工品（オリーブオイル等）の商品開発。
- ・市内施設と連携し、オリーブをベースとしたグリーンツーリズムとの連携を検討する。

農業へのチャレンジ

～オリーブ～

◆ 工夫・苦労した点

- ◆ 各地域での法人設立への賛同者が現れない。
- ◆ 法人化した時点での資金調達が困難

【モニター栽培での実践】

- ・ とにかくオリーブとはこういうもの、管理はこうする。技術導入から販売まで堀内グループで支援実施するという説明を行った。
- ・ 収支概算試算表を作成し、法人化した時点の採算ベースをわかりやすいものとした。

【収穫までが3～4年かかる】

- ・ 収穫までの運転資金をどうするかが問題
- ・ 農事組合法人→農業生産法人化→認定農業者の取得。農業行政資金を調達
- ・ 農商工連携・産学官連携の活用

- ◆ まとまった農地の確保が出来ない。

【栽培地の選定】

- ・ 農業用水の確保
- ・ 管理用道路のある圃場
- ・ 猪等の防御対策

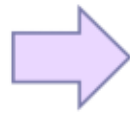
- ◆ 労働力確保

【農家の方は高齢化】

- ・ ほ場整備及び土壌改良は建設重機で対応。
- ・ 各現場の工程の合間に圃場整備及び土壌改良等の重機作業を組込むことにより建設業が持っている資源を有効に活用する。

新分野進出のメリットと成果

- ◆地方の中小建設業者は、建設投資の急速な減少により持っているパワーを100%発揮する場所が減少してきている。
- ◆そのパワーを農業分野に有効利用させるこの当社のビジネスモデルは、県内で注目されている。



堀内組において
5月～7月の仕事量が減少する時期に年間を通しての標準化に貢献した。

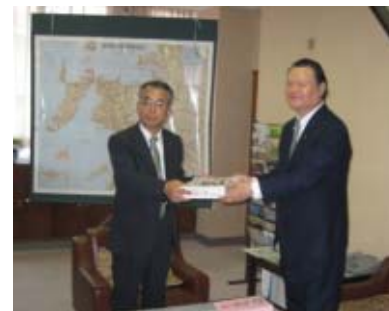
自社のPR
地域の皆様に認められてきた。
今後の活動がやりやすい。
→社員の意識向上

【長崎県県北振興局長に贈呈】

自社の商品も様々↓

▼朝日新聞

【佐世保市長にブルーベリー贈呈】



【佐世保市異業種交流会
ブルーベリー農園視察】



今後の展開・課題

～ブルーベリー～

- 収量の増産
- 長崎県産ブルーベリーブランドの確立
- ブルーベリー栽培者の開拓



今後の展開・課題

～マンゴー～

1. **新しい農産物のブランド創出。定着**
2. 農業参入を目指す企業への提案
 - ・ 新しい堀内グループ農業ビジネスへの展開。
 - ・ 農業生産法人の設立、認定農業者になる為の経営指導、ブルーベリー・マンゴー等の管理型栽培方法の苗、栽培技術、栽培施設建設への提案、設計施工
 - ・ 栽培した農産品の販売協力
3. 新規就農者への管理型農業の提案・指導・協力支援
4. **果樹工場**(マンゴー等)への展開。

- 県内での鉢植えマンゴー栽培の普及
- 長崎県産マンゴーブランドの確立

今後の展開・課題

～オリーブ～

- 農園の拡大及び収量の増産
- 長崎県産オリーブブランドの確立
- オリーブ栽培者の開拓
- 世界遺産暫定リストに選定された教会等と連携させ、地域の特産物を創出する。





最後に…

- 堀内グループのメイン事業である総合建設業を軸に地域の活性化のため、ただ企業が自己満足する事業を展開するのではなく、地域に評価され、必要とされる事業展開を目指している。

ご静聴ありがとうございました。

【本事業に関する問い合わせ】 株式会社 堀内組(担当 天島/テシマ)

長崎県佐世保市光町109番地

TEL: 0956-47-2127 FAX: 0956-48-5069

URL: <http://www.horiuchi-g.co.jp> MAIL: info@horiuchi-g.co.jp